



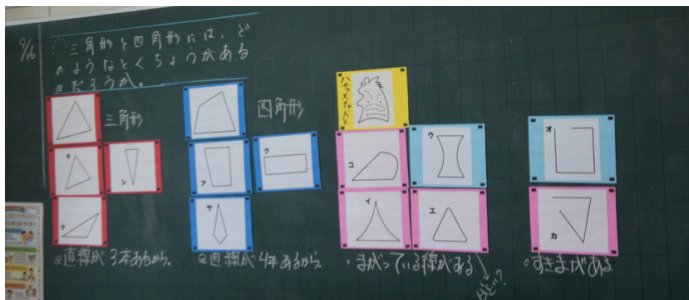
～学びの継続・だれでも意見・

強みを生かして、輝こう！～

一人1授業（2年生）

9月16日（水）に、2年生のクラスで、研究授業がありました。算数「三角形と四角形」の学習でした。三角形と四角形を仲間分けし、どんな特徴があるのかを見つける学習でした。

授業の様子



GOOD ポイント

児童の発言を活かした展開

子どもたちの言葉を丁寧に拾い、深みのある授業に繋がっていました。

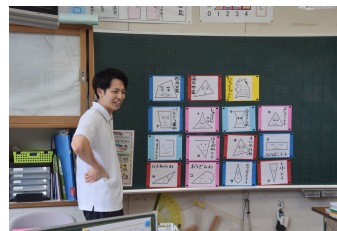
バッドモデルの提示

あえて間違った例を示すことで、子どもたち自身が正解に気づく思考のプロセスが生まれていました。

個別最適な学びの準備

子どもたちが自分に合った学習方法を選択できるよう、手立てや準備が徹底されていました。

みんなに紹介！ すてきな児童の姿&指導！



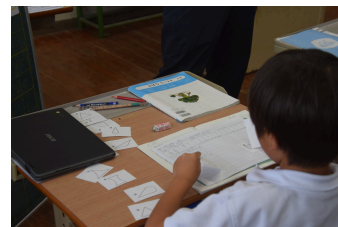
導入の工夫

「三角大王と四角女王の仲間を探そう！」「ハチャメチャ大王（スパイ）にだまされるな！」と始まった授業に子供たちの興味関心◎



見方考え方モンスター

問題を多角的にとらえ、筋道を立てて解決する「数学的な見方・考え方」を働かせる工夫をとっていました。



十分な自力解決時間

黒板に貼ってある図形を手元で操作しながら、自分なりに根拠をもって、分類する時間が十分とっていました。

子どもが伸びる！「予習型授業」→次回、松山先生の授業をお楽しみに！

目的

「間接指導」でも子どもが迷わず学び進められる自立的な学習スタイルを構築する。

予習型授業とは？

● 自律学習の強化

前日までに教科書や資料を読み、基本知識や自分の考えを整理しておく授業スタイルです。

● ズレ（直接・間接）の解消

教員が別の学年を直接指導している間（間接指導）、子どもが「何をすればいいかわからない」状態を防ぎます。

● 深まる話し合い

授業開始時点で基本事項が入っているため、直接指導の時間（教員が入る時間）を「疑問の解決」や「対話・深掘り」に集中できます。

基本サイクル

段階	子どもの活動（学習の流れ）	担当教師の支援・働きかけ
家庭学習 / 前日	教科書を読み、「予習ノート」に要点と疑問点を書く。	予習の観点（めあて・問いのヒント）を提示しておく。
【間接】授業前半	予習ノートをもとに、友達と各自の考えを交流・比較する。	別学年の直接指導に集中（こちらはペア・グループに任せる）。
【直接】授業後半	解決しなかった疑問点を教師と解決し、学びを深める。	子どもの疑問を整理し、本質的な発問・指導を行う。
振り返り	新たな気づきや、最初の考えからの変容を記録する。	ノートを点検し、次回の予習のヒントを与える。

予習ノート

- 教科書を読んで分かったこと・自分なりの答え【予習】
 - 「なぜ？」「もっと知りたい」「友達に聞きたいこと」【疑問】
- の2つを書いてみましょう。

切り取り

感想

次回に向けて

○今年度の実践をまとめてみませんか？